

令和 7 年度 年間指導計画（評価計画） 保健体育 2 年

1 評価の観点及びその趣旨

観 点		趣 旨
①	知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

2 年間指導計画

(1) 体育分野

月	単元	学習事項(指導内容)	時数	観点	評価規準	評価方法
4 月 9 月 1 月	体 つ く り 運 動	体 つ く り 運 動	7	①	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・授業観察 ・学習カード
				②	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・体づくり運動に主体的に取り組もうとするとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話合いに貢献しようとし、健康・安全を確保したりしている。	
4 ・ 5 月	陸 上 競 技	短 距 離 走 リ レ ー	10	①	・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつながりを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・陸上競技に主体的に取り組もうとするとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全に確保したりしている。	
6 月	球 技 (ネ ッ ト 型)	バ レ ー ポ ー ル	8	①	・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとし、作戦などについての話合いに参加しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとし、仲間の学習を援助しようとし、健康・安全に気を配ったりしている。	
7 月	器 械 運 動	跳 び 箱 運 動	8	①	・器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・器械運動に積極的に取り組もうとするとともに、よい演技を認めようとし、仲間の学習を援助しようとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとし、健康・安全に気を配ったりしている。	

9月	球技 (ゴール方)	アルティメット	8	①	・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・ゴール型では、ディスク操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	
10月	水泳	クロール 背泳ぎ 平泳ぎ	8	①	・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・水泳に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。	
11月	陸上競技	走り高跳び	7	①	・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	
12月	ダンス	現代的なリズムのダンス	8	①	・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	
1月	球技 (ベースボール型)	ソフトボール	8	①	・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	
2月	武道	柔道	7	①	・武道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・武道に積極的に取り組もうとするとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。	
3月	球技 (ゴール型)	ラグビー	8	①	・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。	・授業観察 ・学習カード
				②	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				③	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	

(2) 体育理論分野

2月	体育理論	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	①	- 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解している。 - 運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解している。 - 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解している。	・授業観察 ・学習カード、レポート ・領域テスト
				②	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。	
				③	運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。	

(3) 保健分野

4月 5月 6月 7月	健康な生活と病気の予防	生活習慣病の予防 がんの予防 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ 「いのちの授業」	7	①	- 生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解している。 - がん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣など様々な要因がある。適切な生活習慣を身に付けることなどが予防策に有効であることを理解している。 - たばこの煙の有害物質とそれらの作用について理解している。 - 未成年者の喫煙は、身体に大きな影響を及ぼすことを理解している。 - エチルアルコールの作用を理解し、急性中毒や常習的な飲酒の害について理解している。 - 未成年の飲酒は身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいことを理解している。 - 覚醒剤や大麻の摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを理解している。 - 個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、社会への適応能力や責任感の発達を妨げるため、暴力、非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを理解している。 - 好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があることを理解している。	・授業観察 ・学習カード、レポート ・領域テスト
				②	- 学んだことを自他の生活の中で関連付けて、課題を見い出そうとしている。 - 学んだことを自他の生活の中で関連付けて、課題を見い出そうとしている。	
				③	- 自己の課題と関連づけて自主的に取り組もうとしている。 - 自分の将来について課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	
9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	呼吸器・循環器の発達	障害の発生要因と防止 交通事故の要因と傷害の防止 犯罪被害の防止 自然災害による傷害の防止 応急手当の基本 心肺蘇生法 出血があるときの応急手当 外傷の応急手当	9	①	- 人的要因としては、人間の心身の状態や行動の仕方について、発生することを理解している。 - 環境要因としては、生活環境における施設・設備の状態や気象条件によって発生することを理解している。 - 人的要因に関わる危険を予測し、心身の状態や周囲の状況を把握し、判断して、安全に行動することを理解している。 - 環境要因に関わる危険を予測し、交通環境などの整備、改善をすることがあることや、交通事故を防止するためには、自転車や自動車の特性を知り、交通法規を守り、周囲の状況に応じ、安全に行動することを理解している。 - 自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることを理解している。 - 自然災害には地震に伴って発生する津波などの二次災害もあることを理解する。 - 傷害が発生した際に、迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できることや、応急手当には止血や患部の保護や固定があり、その方法を理解している。 - 気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED使用などの心肺蘇生法があることを理解している。 - 実習を通して包帯法や止血法としての直接圧迫法ができる。	・授業観察 ・学習カード、レポート ・領域テスト
				②	- 身近に起きている事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見する。 - 交通事故による傷害の防止について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、傷害を引き起こす様々な危険を予測し、回避する方法を選択できる。 - 自然災害などによる傷害の防止について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりする。 - 傷害を引き起こす様々な危険を予測し、回避する方法を選択し、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。	
				③	- 傷害の防止について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 - 身近な環境で危険な場所や心配なところを発見し、今後の生活に活かそうとしている。	